

## 1. 改定の趣旨

令和2年2月に第2次八千代市水道事業経営戦略・第2次八千代市公共下水道事業経営戦略として策定しましたが、策定から6年を経過し、人口のピークが令和11年と見込まれること、水需要の変化、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の抑制、物価高騰・労務単価の上昇など経済状況の変化、水道施設再構築計画や管路耐震化計画の見直しや、ストックマネジメント計画に係る修繕・改築計画の策定などの影響を踏まえ、第3次経営戦略として改定を行うこととしました。基本的な構成は変更せず、収支見通しの修正と決算に基づく各種統計資料の整理を行いました。

## 2. 主な改定内容

### （水道・公共下水道共通）

- ・令和12年以降の人口減少等を考慮した料金収入、施設の老朽化を見据えた将来にわたる更新費用及び物価高騰等を反映した維持管理委託費、動力費等の物価高騰等の的確な反映と、計画期間内に収支均衡を維持する上で必要となる経営改革の検討を踏まえた見直し（P1）
- ・計画期間の見直し「令和2年度～令和11年度」⇒「令和8年度～令和17年度」（P1）
- ・第5次総合計画、公共施設等総合管理計画等の各種計画との整合性を見直し（P4）
- ・5年に1度の計画の見直しを明記（P5）

### （水道事業）

- ・令和5年3月改訂の八千代市人口ビジョンを踏まえた給水人口の推移の修正（P9）
- ・使用水量と料金収入の推移の修正（P10）
- ・水道施設再構築計画及び管路耐震化計画の見直しに伴う修正（P10、P20～P26）
- ・DX※の推進（P27）※DX：デジタル・トランスフォーメーション：ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させること
- ・水道料金・手数料の見直しの修正（P28）
- ・水道料金等の納付方法の拡充（P30）
- ・災害復旧体制の強化 上下水道BCP（平成30年4月制定）の追加（P30）
- ・収支見通し、財源の見通し、財源に係る経営指標の見通しの修正（P34～P40）

### （公共下水道事業）

- ・令和5年3月改訂の八千代市人口ビジョンを踏まえた水洗化人口の推移の修正（P9）
- ・汚水量（有収水量）と下水道使用料収入の推移の修正（P10）
- ・汚水管渠及び汚水マンホールの耐震化の追加（P21）
- ・民間資金・ノウハウの活用におけるウォーターPPPの検討について追加（P22）
- ・DXの推進（P22）
- ・広域化・共同化の検討におけるし尿等の公共下水道への放流施設の整備（P22）
- ・下水道使用料検証・検討の修正⇒下水道使用料の見直し（P23）
- ・下水道使用料等の納付方法の拡充（P23）
- ・災害復旧体制の強化 下水道BCP※⇒上下水道BCPに修正（平成30年4月制定）（P24）

※BCP：業務継続計画とは大規模な災害等で職員、庁舎、設備などで相当の被害を受けても、優先実施業務を中断させず、たとえ中断しても許容される時間内に復旧できるようにするため、策定・運用を行うもの

- ・雨水施設の整備拡充における八千代1号幹線擁壁改修の追加（P27）
- ・収支見通し、財源の見通し、財源に係る経営指標の見通しの修正（P28～P34）
- ・経費回収率の向上に向けたロードマップ※の追加（P35）※ロードマップ：プロジェクトの方向性を計画するための工程表